

東京から神域を馳せ出雲へ、駆ける少女の物語

Child of Kamiari Month

神在月のこども

時を止めた
走り出す
もう一度
自分を信じてみたい

蒔田彩珠 坂本真綾 入野自由
柴咲コウ 井浦新
新津ちせ 永瀬莉子 高木渉 茶風林 神谷明

原作・コミュニケーション監督：四戸俊成／アニメーション監督：白井孝奈／脚本：三宅隆夫・瀧田敏博／原簿構成・キャラクターデザイン・総作画監督：佐川運／神祕デザイン：小田裕康／色彩設計：垣田由紀子／美術監督：佐藤薫志
撮影監督：高津純平／音響監督：若浪美和／クリエーション監督：坂本一也／絵コンテ：白井孝奈、坂本一也、望月智充
統括プロデューサー：オシアウコ／プロデューサー・ロケーション監督：三高鉄兵／プロデューサー：吉田佳弘／プロダクションマネージャー：里見智郎／スーパーバイザー：藤田道彦
主題歌：「神無-KANNA-」miwa
企画：クリティカ・ユニバーサル／制作：ライデンフィルム／音楽：ソニー・ミュージックレーベルズ／統括：GUM／宣伝：バジー・エンタテインメント／配給：イオンエンターテイメント

10月8日(金) 全国ロードショー



文化庁文化芸術振興費補助金 (映画創造活動支援事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

©2021 映画「神在月のこども」製作委員会

STORY

少女の名は、カンナ。
母を亡くし、大好きだった「走ること」と
向き合えなくなったこども。
そんな少女が、在る月、
絶望の淵に母の形見に触れたことで、
歯車が廻りはじめる。
現れたのは神の使いの白うさぎ。
出雲までの旅にカンナを誘う。
少女は問う
「本当に、お母さんに会えるの？」
白兔は答える
「縁が、あれば。」
行く手を阻むのは、鬼の少年、夜叉。
行く先で出あうのは、大小様々な八百万の神々。
神無月と書き、神々が全国から姿を無くす月を
神在月と呼び、神々を迎えてまつる神話の地。
島根・出雲、
この島国の根と書く場所へ。
自分を信じて駆ける少女のものがたり。

CHARACTER

葉山カンナ

母の死で走れなくなった少女

蒔田彩珠

葉山弥生

カンナを残し他界した母

柴咲コウ

シロ

神より使わされた白うさぎ

坂本真綾

葉山典正

カンナを一人で見守る父

井浦新

夜叉

出雲への旅を阻む鬼の少年

入野自由

大国主

出雲で待ち受ける大神

神谷明

INTRODUCTION

日本各地では『神無月』と呼ばれる10月が、出雲地方では『神在月』と呼ばれる由縁

それは八百万の神々が翌年の縁を結ぶ会議のため、全国から姿を無くして出雲に集うという云われに在った。

主人公は、現代を生きる12才の少女。

母の他界で、好きだった走ることが嫌いになってしまったこども。

主人公カンナを蒔田彩珠、幼少期を新津ちせ、神使の兔を坂本真綾、鬼の少年を入野自由、大国主を神谷明、

カンナの父を井浦新、母を柴咲コウと、人々を俳優、神々を声優が熱演。

主題歌・劇中歌は10代の言葉を代弁してきたmiwaが担当。

国内外に数々の名作・傑作を届け続けてきた豪華クリエイター&プロデューサー陣が結集し、

“この島国の根”と書く島根・出雲の『神在月』を描くロードムービーが誕生する。



©2021映画『神在月のこども』製作委員会

10/8 (金) 全国ロードショー

ムビチケ前売券発売中!!
一般：1,500円 小人：900円
※税込み



小説『神在月のこども』(講談社文庫) 全国の書店で発売中! ※講談社文庫(小説版)は、映画『神在月のこども』の脚本(蒔田彩珠・三宅隆太)を元に、著者四名の協業で書下ろされた作品です。